

千町田

「のきの郷」に望む

副代表理事 (當農部担当)

原 昭夫 (赤崎支部)



副代表理事 (機械施設部担当)

河津一行 (飯生支部)



副代表理事 (機械施設部担当)

菱本健一 (飯生支部)



実施して安全作業に努めてまいります。また、これからは「食の安全・安心」を理念において生産活動を進めていきたいと思います。それには皆様のご協力なくしては進められませんので、「」協力、」「指導をお願いいたします。

當農部副部長

原 邦夫 (赤崎支部)



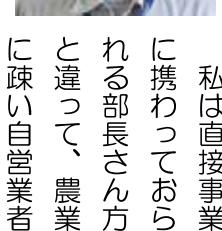
當農部副部長

井塚一男 (利弘支部)



當農部副部長

瀬川一也 (利弘支部)



のきの郷の法人の設立となり県内でも有数の農業法人となりました。当地区内でも大変心配されているのが、農業新聞などでも報道されているように農業従事者の高齢化による過疎化です。その事が現実的になりつつある中で、我々の役割はますます重要になって来ております。耕作放棄地をなくし組合員の皆様と意見を出し合い6次産業化へと向かい、また全員参加の経営で集落の永続性とともに活気ある集落を目指したいと思います。その為にも皆様のご協力がなければなりません。今後ともご指導協力をよろしくお願いいたします。

「農事組合法人のきの郷」へ。當農組合の発展的解散、そして

だいております飯生町の河津です。まだまだ若輩者ではありますが今後ともよろしくお願い致します。

これから「のきの郷」は、経営的に困難な中、グローバルな農業化へと向き合っていかなければなりません。皆様の協力により春作業も無事に終わりコシヒカリの穂も少しづつ顔を出してきた今日この頃です。これから秋作業になりますが、よう一層皆様の協力を得ながら頑張っていきたいと思います。

機械施設部副部長

井塚一男 (利弘支部)

今年は6月

渴水、7月大雨

と不安定な天候が続いています。

「のきの郷」は事業の充実、将来への希望が必要であり、組合員の皆様が働く喜びを分かち合える



うは、飼料米の播種作業から水稻各種の播種及び田植、大豆の播種作業と事故なく終り安堵しております。今後秋の刈取り作業に向かって機械の点検整備と講習会を

おこなう予定です。今後も機械の点検整備と講習会を

おこなう予定です。今後も機械の点検整備と講習会を

おこなう予定です。今後も機械の点検整備と講習会を



田植が無事終わりました

第1工区から第4工区まで 96.9 ha の田植が無事終わりました。5月17日から6月11日までの間の16日間にわたり延べ 345 名のみなさんが出発されました。暑い中での作業お疲れ様でした。その後7月20日には春作物で出発された165名の方を対象に慰労を兼ねて反省会にご案内しました。女性を含め 35 名が参加され和やかなひと時を過ごしました。来年も企画しますので気兼ねなくご参加下さい。

菜種・麦 収穫(2年3作)

春の白鳥ロードを賑わした菜の花も実り収穫されました。今回の作付けは菜種油用品種と景観用品種とがありました。菜種油用では約 2.7 t の収穫があり、淡路島(兵庫県洲本市)の五色ふるさと振興公社にて搾油、瓶詰を約 810 ℥ 依頼しています。菜種油は11月頃出来上がり予定です。値段などは未定ですが昨年同様に販売いたしますのでご注文お待ちしております。

菜種に続いて、麦も収穫さ



れました。麦は小麦と裸麦を作付けしていました。正確な収量は、まだ把握できていませんがまずはの出来でした。
菜種、麦の後作として大豆の播種が行われ、小さな芽がすぐすぐ伸びています。

お知らせ

ネットの種もみ袋(市販価格1枚30円)と肥料袋の空き袋が多数あります。

無料で差し上げますのでご入用の方は、のきの郷まで取りに来てください。

今後の予定として、稻刈りの計画をじ連絡します。
稻刈り

稻刈り予定

今週間程度早いようですが、今後の生育状況等によって多少前後しますのでご承ください。

品種名	刈取り開始予定日
つや姫	8月24日
コシヒカリ	9月5日
きぬむすめ	9月20日

今秋の保有米・縁故米の注文取りまとめ状況を連絡します。
注文の漏れなど無いように確認をお願いします。
なお、販売価格、引き渡し予定日につけましては、9月初旬にご連絡します。

	コシヒカリ	きぬむすめ
保有米	1,021	355
縁故米	511	71
合計	1,532	426

保有米・縁故米取りまとめ状況

各所より視察などに来訪されました。

7月12日

山口県農地整備事業川西地区

フォアス視察

7月19日

島根県認定農業者視察

7月29日

農林水産省 聽き取り調査

いろいろしゃいます

8月13日から16日まで
事務所は休業します。



ちよつこじ聞いて

菜種と麦が黄金色に実る麦秋が終わると、やはや夏真っ盛り。太陽はギラギラと照り付け暑さにうんざりですが、田んぼは青々とし風が吹き渡っています。ざわざわと稻を揺りす風と音を思い浮かべながらゆっくり寝でもして、この夏を乗り越えようと思うのでした。(さ)